



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング

コード番号 6149

URL <http://www.odawara-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼管理部長 (氏名) 保科 雅彦 (TEL) 0465-83-1122

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	9,029	11.9	931	44.4	955	45.9	1,853	239.6
28年12月期第3四半期	8,067	11.2	645	58.0	654	37.6	545	89.9

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 1,992百万円(294.0%) 28年12月期第3四半期 505百万円(64.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	316.95	—
28年12月期第3四半期	98.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	15,968	11,162	69.9
28年12月期	13,413	9,346	69.7

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 11,162百万円 28年12月期 9,346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年12月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 15円00銭

29年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 15円00銭

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	3.7	700	△23.4	750	△23.7	1,600	107.5	273.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	6,392,736株	28年12月期	6,392,736株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	545,152株	28年12月期	544,824株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	5,847,838株	28年12月期3Q	5,546,350株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、設備投資や生産、輸出の持ち直し、企業収益や雇用情勢の改善など、全体として緩やかな回復基調が続きました。

一方世界経済は、中国では各種政策効果もあり景気は持ち直しの動きが続き、米国では景気は着実に回復が続き、欧州では景気は緩やかに回復するなど、全体としては緩やかに回復いたしました。

このような状況下、当社グループは国内外で積極的な営業活動を展開した結果、売上高は9,029百万円(前年同四半期比11.9%増)となり、利益面につきましては、営業利益は931百万円(前年同四半期比44.4%増)、経常利益は955百万円(前年同四半期比45.9%増)、投資有価証券売却益1,584百万円を特別利益に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,853百万円(前年同四半期比239.6%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①巻線機事業

巻線機事業に関しては、大型案件の売上を計上したことなどにより、売上高は5,747百万円(前年同四半期比17.3%増)、セグメント利益は1,082百万円(前年同四半期比73.5%増)となりました。

#### ②送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、浴室照明器具がやや低迷してきたものの、産業用ロボットやスマートフォン向け等、工作機械関連向けの軸流ファン需要が引き続き好調に推移していることに加え、ラジアルファンや車両用送風機も売上に寄与し始めたことなどにより、売上高は3,281百万円(前年同四半期比12.3%増)、セグメント利益は91百万円(前年同四半期は16百万円のセグメント損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて27.3%増加し、12,077百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,785百万円、商品及び製品が340百万円、受取手形及び売掛金が252百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、3,890百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて19.1%増加し、15,968百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて20.4%増加し、4,340百万円となりました。これは主に、未払法人税等が633百万円、前受金が522百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が382百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、464百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて18.2%増加し、4,805百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて19.4%増加し、11,162百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,678百万円増加したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成29年8月9日に公表した業績予想に変更はありません。この予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,379,649	5,165,315
受取手形及び売掛金	2,172,865	2,425,040
電子記録債権	598,666	583,815
商品及び製品	482,135	822,332
仕掛品	2,011,725	2,066,295
原材料及び貯蔵品	475,177	554,244
繰延税金資産	183,397	263,996
その他	182,539	197,324
貸倒引当金	△1,168	△642
流動資産合計	9,484,988	12,077,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,885,110	2,922,021
減価償却累計額	△1,658,243	△1,743,971
建物及び構築物(純額)	1,226,866	1,178,050
機械装置及び運搬具	1,090,975	1,135,683
減価償却累計額	△890,724	△947,346
機械装置及び運搬具(純額)	200,251	188,337
工具、器具及び備品	1,076,765	1,138,416
減価償却累計額	△947,097	△1,018,982
工具、器具及び備品(純額)	129,667	119,434
土地	1,581,568	1,584,660
建設仮勘定	27,835	27,900
有形固定資産合計	3,166,189	3,098,383
無形固定資産		
ソフトウェア	60,919	71,589
電話加入権	3,043	3,043
その他	165	152
無形固定資産合計	64,128	74,785
投資その他の資産		
投資有価証券	403,384	424,767
破産更生債権等	0	0
退職給付に係る資産	268,523	265,871
その他	25,903	27,075
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	697,811	717,713
固定資産合計	3,928,129	3,890,882
資産合計	13,413,118	15,968,606

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,128,864	1,746,187
未払金	219,310	182,350
未払法人税等	173,318	806,713
前受金	706,868	1,229,142
賞与引当金	62,462	176,053
アフターサービス引当金	74,779	84,928
受注損失引当金	—	637
その他	240,068	114,726
流動負債合計	3,605,670	4,340,738
固定負債		
繰延税金負債	112,455	109,746
役員退職慰労引当金	115,590	133,439
退職給付に係る負債	181,016	181,925
資産除去債務	33,691	27,824
その他	18,518	12,027
固定負債合計	461,272	464,963
負債合計	4,066,942	4,805,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,786,154	1,786,154
利益剰余金	6,832,613	8,510,664
自己株式	△380,831	△381,607
株主資本合計	9,488,753	11,166,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,191	147,197
繰延ヘッジ損益	△60,062	△6,525
為替換算調整勘定	△213,706	△143,794
その他の包括利益累計額合計	△142,577	△3,122
純資産合計	9,346,175	11,162,904
負債純資産合計	13,413,118	15,968,606

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,067,850	9,029,555
売上原価	6,054,459	6,349,016
売上総利益	2,013,390	2,680,538
販売費及び一般管理費	1,368,359	1,749,104
営業利益	645,031	931,433
営業外収益		
受取利息	2,004	645
受取配当金	92,584	4,231
受取賃貸料	11,956	12,569
作業くず売却益	4,651	7,213
その他	12,216	10,759
営業外収益合計	123,413	35,420
営業外費用		
支払利息	805	31
支払手数料	30,018	—
為替差損	78,884	8,536
減価償却費	4,182	2,318
その他	36	922
営業外費用合計	113,927	11,810
経常利益	654,517	955,043
特別利益		
固定資産売却益	764	65,388
投資有価証券売却益	—	1,584,525
投資有価証券清算益	11,175	—
関係会社清算益	102,546	—
特別利益合計	114,486	1,649,913
特別損失		
固定資産除売却損	44	127
減損損失	1,785	—
特別損失合計	1,830	127
税金等調整前四半期純利益	767,173	2,604,830
法人税、住民税及び事業税	202,430	864,863
法人税等調整額	△38,064	△113,520
法人税等合計	164,366	751,342
四半期純利益	602,806	1,853,487
非支配株主に帰属する四半期純利益	56,959	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	545,846	1,853,487

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	602,806	1,853,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,134	16,006
繰延ヘッジ損益	△93	53,537
為替換算調整勘定	△62,738	69,911
その他の包括利益合計	△96,966	139,455
四半期包括利益	505,839	1,992,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	452,223	1,992,943
非支配株主に係る四半期包括利益	53,615	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,901,426	2,921,205	7,822,632	245,218	8,067,850	—	8,067,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	409	409	—	409	△409	—
計	4,901,426	2,921,614	7,823,041	245,218	8,068,259	△409	8,067,850
セグメント利益 又は損失(△)	624,096	△16,739	607,357	244,689	852,047	△207,015	645,031

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△207,015千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、「企業再生支援事業」を構成していた匿名組合より出資金が返還されたことにより、前連結会計年度末日に比べ、「企業再生支援事業」のセグメント資産が、164,128千円減少しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,747,706	3,281,848	9,029,555	—	9,029,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,268	1,268	△1,268	—
計	5,747,706	3,283,117	9,030,824	△1,268	9,029,555
セグメント利益	1,082,791	91,759	1,174,550	△243,116	931,433

(注)1. セグメント利益の調整額△243,116千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成29年2月をもって「その他」の区分に含まれておりました企業再生支援事業から撤退したことに伴い、第1四半期連結累計期間より「その他」を廃止しております。